

新みかわ

発行
随時

No. 一九三号 二〇一六年四月号
日本共産党 三川町委員会
〒(六六)三七五五

2016年度3月定例議会

一般会計、総額43億9000万円・全会一致で採択



づくりや子育て環境の充実、農業振興を進める予算となりました。

主な事業は、①公共施設等長寿命化対策事業9890万円、②地域交流・子育て支援施設整備事業2200万円、③かわまちづくり整備事業4100万円、④「いろり火の里」推進事業3250万円、⑤はっぴ・メモリアル事業60万円、⑥特産キラリ生産拡大支援事業20万円です。

一般質問は、佐藤正治、町野昌弘、志田徳久、田中あきら、梅津博の順で五議員が行いました。

◆廃棄物処理委託についての田中あきら議員の一般質問要旨

・田中 一般廃棄物の委託の現状については。

・町長 平成19年3月31日に「鶴岡地区衛生処理組合」が解散、その後、本町単独では一般廃棄物の処理は困難なため、鶴岡市に業務委託している。鶴岡市では、ごみ焼却施設の老朽化に伴い、平成32年度までに施設の建て替えを予定していることから、環境省交付金採択要件となる「鶴岡市・三川町地域循環型社会推進計画」を平成25年12月27日に鶴岡市長と連名で環境大臣提出し、翌年3月27日に承認された。

今後の施設整備に係る経費は本町では応分の負担をしている。

・田中 昨年4月6日付けで、三川から鶴岡市に対して「新廃棄物焼却施設及び新廃棄物最終処分場後」についても引き続き業務を受託するよう「この依頼文書を発しているが、



検討願いたい」という文書依頼の要請があり出したもの。

・田中 「応分の負担」で3月1日付け、毎日新聞の報道では、「新焼却施設でのゴミ処理について鶴岡市廃棄物対策課処理量の実績などを根拠に鶴岡市が92.05%、三川町が7.95%の負担割合を整理環境計画を作成」とあるが。

・町長 「三川町の廃棄物を受託することの方向性が決まるまで、かなり時間がかかり、現段階では事務局の動きが取れないので、そのために三川町から改めて新焼却施設新処分場について引き続き廃棄物処理の委託を続ける方向で

・町長 三川町の廃棄物を受託することの方向性が決まるまで、かなり時間がかかり、現段階では事務局の動きが取れないので、そのために三川町から改めて新焼却施設新処分場について引き続き廃棄物処理の委託を続ける方向で

るがその理由は。



鶴岡市焼却場

・町長 「応分の負担」については、平成25年度策定の「地域環境型社会推進計画」で算出した新焼却施設建設費、約12億円に基づき施設整備に係る費用の応分の負担を行う考えであり、整備事業に合わせ3年間で負担する場合と鶴岡市の起債償還に合わせ平成31年度から平成47年度まで負担する「3年リセッション」を示したものを。

・田中 環境省では、「ゴミ処理について「広域化を進めてい

・町長 ダイオキシン削減対策として、新たに建設される焼却施設は安定的な燃焼状態のもとに焼却を行うことが適当であり、そのために必要な規模が求められている。ゴミ焼却施設は、焼却能力300トン/日以上が望ましいとされ、最低でも100トン/日以上必要としている。そのために焼却施設を設置できるよう、市町村を広域ブロック化が必要となる。最終処分場の確保対策では「ゴミ焼却施設の広域化

と併せて、焼却灰等を処分する最終処分場の広域的な確保が必要がある。

また、高度な処理が可能で小規模なゴミ焼却施設等を個別に整備すると多額の費用が必要となることから、可能な限り「ゴミ処理施設を集約化し、広域的に処理することにより、公共事業のコスト縮減を図る」とされている。

※環境省が進める焼却施設確保要件、人口5万人以上・面積4000㎡以上、一日の廃棄物最低100t以上で、三川町は一日8tで成り立ちませ

他の一般質問では

◆介護保険改正に伴う対応についてと倒壊空き家対策について質問しました。

◆これに対して、訪問介護・通所介護は「地域支援事業」として展開し、今後の国の議論状況や推移について注視していく。空き家対策については、所有者に対して、助言、指導及び勧告、命令等適切な行政指導を行うっていく旨の答弁がありました。

一般廃棄物（ゴミ）処理問題について

日本共産党三川支部

今回の問題について私たちは次のように考え、町民の皆さんと一緒に解決のために取り組んでいきたいと考えています。

①平成19年3月議会で、全会一致で議決した鶴岡・三川両市町での合意に基づいて協議して行くべきこと。（消防事業介護認定も同様です。）

②三川町は、これからの事業

実施の「委託をお願いする立場」ですので、協定を土台に、その後の事情変化も含め事務方を中心に誠実に協議を行い、合意を求めざるべきと考えます。③委託料の算定、算定の仕方や細部については、国・県の指導を受けつつ両市町民に情報公開を行い、双方が納得出来るような手続きも含め、将来にわたって安心のできる行政運営が行われる事を望むものです。

横山城下地区に高齢者向け「シニアハウス」が建設

平成28年9月20日、工期完成予定でサービス付き高齢者向け「シニアハウス」が建設中です。社会福祉法人けやきが発注し、今年3月7日より着工し、敷地面積1741.45㎡、建築面積814.45㎡、床面積804.68㎡、居室を31室設置し、通所介護（デイサービス）・訪問介護（ホームヘルプ）機能が併設されます。サービス付き高齢者住宅は基本的に自立か軽度の要介護状態の人が対象で、賃貸住宅で平均利用月額13万円位と言



建設作業現場

われています。

野党は共闘で、安倍政治打倒を！

昨年の9月19日未明、違憲の戦争法が無法なやり方で成立してしまいました。このままずるずると戦争への道になるのを見てはならないのかと、思っている時に、全国総がかり行動実行委員会が、全国2000万人の戦争法の廃止を求める署名を集めようと呼びかけました。

日本中で「平和を求め、戦争に反対する」団体、個人が、今署名用紙を手に、野党は共闘、戦争反対を訴えて行動しています。

三川でもこの運動をしようとして、「みかわ9条の会」の呼びかけで、総がかり行動三川町実行委員会を発足させました。二月十三日には、戦争やんだ三川のつどいを開催。運動をうまく進めるために戦争やん



舟山康江さんと語る会 三川公民館

だおきたまの会の方々と懇談しました。

四月二日には、舟山康江さんと語る会を開き、TPPの真実「くらし・平和・食と農を守るには」と題して語っていただきました。国会の議席配分を変え日本の方向性を変えるために夏の参議院選挙で勝利

しなければなりません。

「こ〜ぶ協同の苑」が完成

お墓の後継者がいない、お墓の管理が難しい、子供に負担をかけたくない、お墓に費用をかけたくないなどの生協組合員の要望にこ〜ぶ協同の苑が横山に完成しました。宗教・宗派の制約がありません。



こ〜ぶ共同の苑

お墓は納骨堂にご要望期間安置します。

生協ではこの施設の内覧会を五月〜七月にかけて開催するそうです。

尚、お問い合わせはコールセンター（0120-91-6244）をお願いします。月曜日〜金曜日午前九時〜午後五時までになります。

戦争法廃止の政府を！ 日本共産党街頭演説会

とき 5月21日（土）午後1時半〜
ところ 山形駅東口

弁士 小池晃党書記局長、他